

ケヤキ無垢 1 枚板のダイニングテーブルの製作について

今回、神奈川県相模原市の S 様よりケヤキの 1 枚板でダイニングテーブルの製作依頼がありました。ケヤキ板は S 様の支給品で実家のある福島県の郡山市より(株)マルダイへ送って戴きました。このケヤキは伐採して 15 年以上経過し、板割りして保管していたものです。



手前側は割れがあり、使えません。

原板 L3300 * W1000 * t120 です。

手前側に大きな割れがあり。

大体のテーブル希望寸法 L1900 から

木取りを割り当てました。

すると、角足 4 本までは用意できますが、

幕板や反り防止材は取れません。

幕板等の不足品はタモ材でも良いとのことで

別に用意することとなりました。



裏面状況です。手前割れあり。

裏面の状況です。

現状の原板と要望条件を図面化致しました。

1. テーブル長 L1900 として片耳をカットし、キッチン側に壁付けとする。
2. テーブルの両端に肘付きチェアを配置し、肘掛けがテーブル下に入りこめること。
3. テーブル厚は 90 は確保したい。

以上により、テーブル H740 高めの設定になり、形状も下図のようになりました。

確定図 S様邸 ダイニングテーブル

搬入時には天板と脚部分けておくこと。
2Fまで、エグジにて吊り上げ、組み立て。

仕様

天板、脚：支給材材

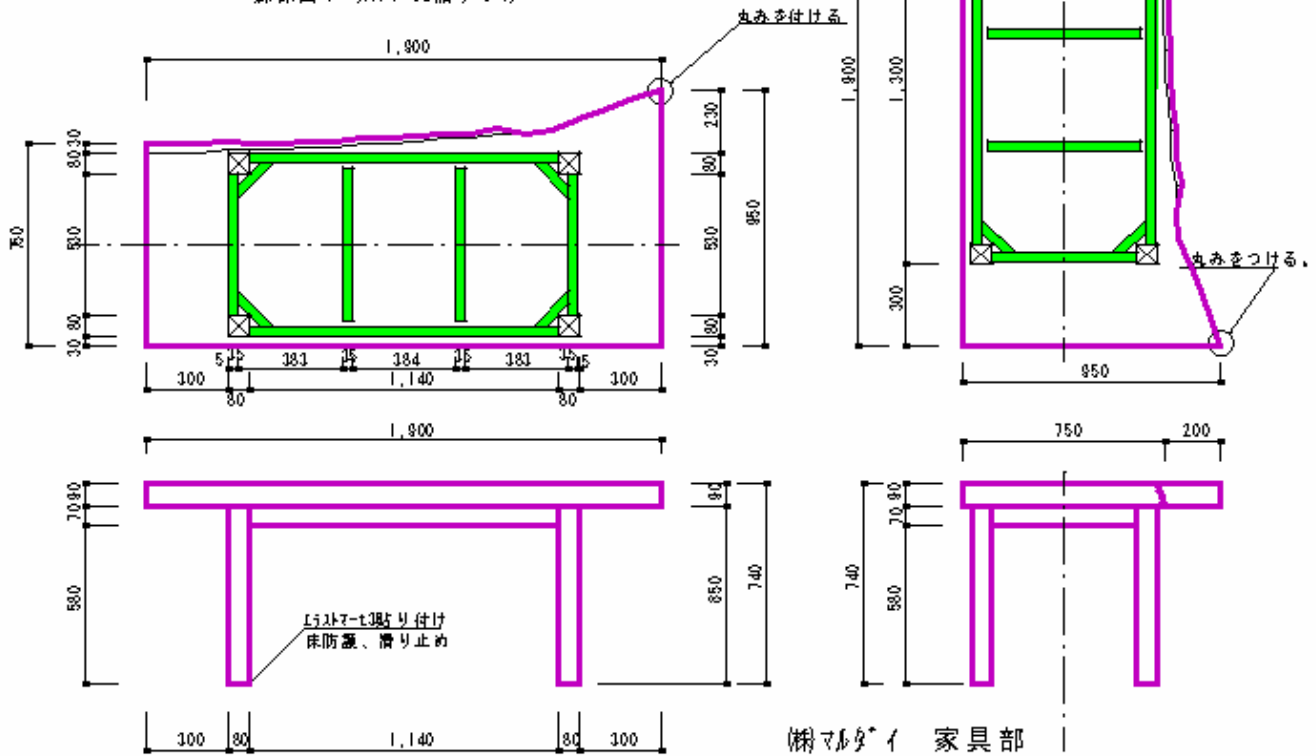
幕板、反り止め：既製材材 濃色部は既材です。

肘付き椅子H=640 (テーブル下収納)

***脚はやつと4本取れました。

その他は割れが多く使えません。残材は返却致します。

脚床面：エグジマ-13貼り付け



㈱マルタイ 家具部

平成21年5月21日

実際の木取り状況です。



L1900 のテーブルです。
片耳カット。



↑
カットしてみてこの中から
角足の 4 本を選びました。
これだけあっても 5 本しか
使えません。



←
小さな虫食い穴がありました。



NCにてフライス加工し、t90に仕上げてワイドサンダー仕上げ完了。



↑ 耳研磨完了



↑ 角足ボルト埋め込み完了。

← 幕板、反り防止材等の固定と脚仮組み。(タモ材) 割れ止め接着も施す。

仮組み確認後、塗装に入ります。このところ、無垢材を主に木の素材を生かし、施工性、アフターにも有効で撥水性があるガラス塗料のグラノールの艶消しで仕上げました。

そして、S様邸への持込です。天板は重量物で、大きいため、内階段は持ち込み出来ませんので、ユニット車にて2Fのベランダまで吊り上げて仮置きし、所定位置に組み立て用受け枠を用意しました。



脚組みの受け枠です。
この上に重たい天板を載せます。



天板を載せて、角足を浮かせた状態で4本固定していきます。
固定完了後、テーブルを受け枠から床に下ろして脚ボルトを増締めします。



幕板、反り防止材のタモ材は脚のケヤキとの色の差をあまり感じない。

脚床面にはエラストマーを貼って
滑り止め、傷防止を図る。



肘付チェアークリアランスを
確保しました。



これでダイニングテーブルのセット
完了です。

天板の杳目はきれいな味を出している。
塗装のグラノールも今回艶消しで、生地
の良さを出しています。



(株)マルダイ 家具部
Da・Monde 鈴木
平成 21 年 6 月 14 日